

2019/10/11 Fri.

問題解決技法入門

2. Graph Theory

1. グラフの基礎

堀田 敬介

Graph

- グラフ Graph $G=(V,E)$
 - 点と枝, およびその接続関係

厳密には
 $G=(f, V, E)$
 $f: E \rightarrow V \times V$

点, 頂点 vertex, node
枝, 辺, 弧 edge, arc

- 点集合 $V = \{1, 2, \dots, n\}$
- 枝集合 $E = \{e_{12}, e_{13}, e_{23}, \dots\}$
- 点1と点2は隣接している (A vertex 1 is adjacent to 2.)
- 枝 e_{12} は点1に接続している (An edge e_{12} is incident to 1.)

Graph

- グラフ $G=(V,E)$
 - 無向グラフ undirected graph

自己ループ selfloop

- 有向グラフ directed graph

Graph

- グラフ $G=(V,E)$
 - 次数 degree ... 点に接続している枝の本数
 - Ex) 点1の次数は2
 - Ex) 点2の次数は5(自己ループは2回カウント)

- 入次数...有向グラフで入ってくる枝の本数
- 出次数...有向グラフで出していく枝の本数
 - Ex) 点3の次数5, 入次数2, 出次数3

Graph

- グラフ $G=(V,E)$ のコスト
 - コスト cost**
 - ラベル label
 - ポテンシャル potential
 - 重み weight
 - 流量 flow
 - 容量 capacity
 - 距離 distance
 - etc.

※点や枝に付随する数値(図の赤や青の数値)は、コストcostとよばれる。コストには、上記にあげたような様々な意味を持たせて利用する
※点や枝にこれらの数値が付随するグラフを特に「ネットワーク」とよんだ時代もあったが、別の意味で使われることが多い言葉なので、「コスト付きのグラフ」や単に「グラフ」でよいだろう

Graph

- グラフ $G=(V,E)$ の路と閉路
 - 路 path**
 - Ex) 1, e_{13} , 3, e_{23} , 2, e_{24} , 4
 - Ex) 1, 3, 2, 4
 - Ex) e_{13}, e_{23}, e_{24}
 - 閉路 cycle**
 - Ex) 1, e_{13} , 3, e_{23} , 2, e_{12} , 1
 - Ex) 1, 3, 2, 1
 - Ex) e_{13}, e_{23}, e_{12}

Graph

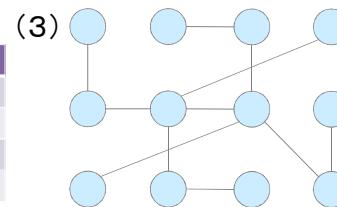
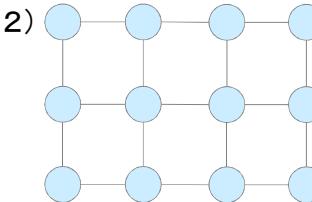
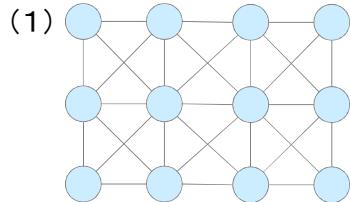
- 様々なグラフ(1)
 - 木 tree**
 - 連結で閉路を含まない無向グラフ
 - 森 forest**
 - 閉路を含まない無向グラフ
 - 連結成分 connected component**

Graph

- 様々なグラフ(2)
 - 平面グラフ plane graph**※
 - ※平面グラフ plane graph と同型なグラフを平面的グラフ planar graphといいます
 - 完全グラフ complete graph**
 - K_3
 - K_4
 - K_5
 - 二部グラフ bipartite graph**
 - V_1
 - V_2
 - 完全二部グラフ $K_{3,3}$
 - cf. クリーケ clique
 - 最大クリーケ
 - 友達の集合
 - 点彩色・辺彩色

練習

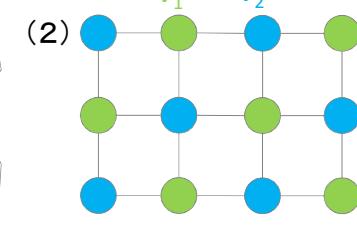
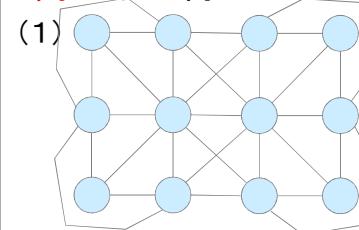
- 問: これは何? 木? 平面? 完全? 二部?



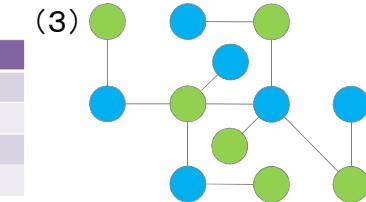
	(1)	(2)	(3)
木	?	?	?
平面	?	?	?
完全	?	?	?
二部	?	?	?

練習(解答)

- 問: これは何?



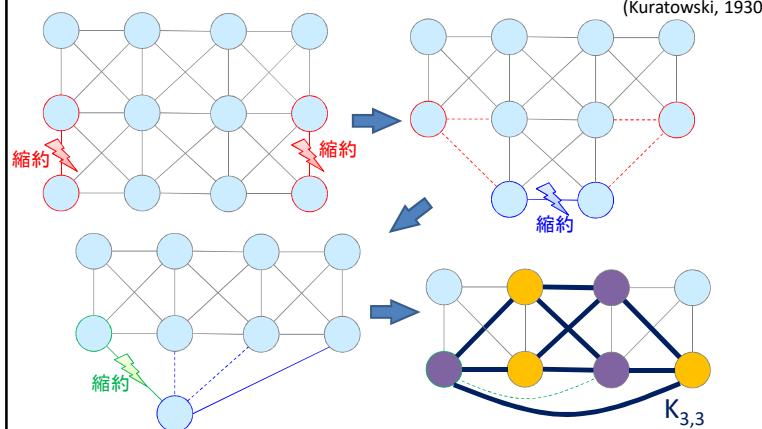
	(1)	(2)	(3)
木	×	×	○
平面	×	○	○
完全	×	×	×
二部	×	○	○



補足: 平面グラフ(平面的グラフ)

定理: グラフが平面に描画できるための必要十分条件は、 K_5 , $K_{3,3}$ のどちらも位相的マイナーとしてもたないこと

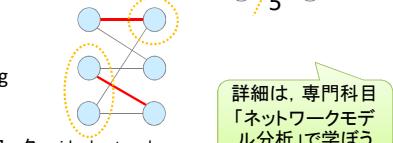
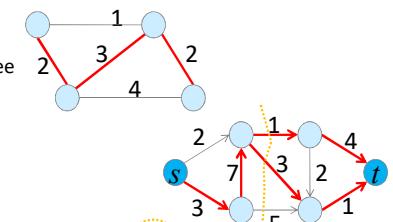
(Kuratowski, 1930)



参考: Graph を使って何をする?

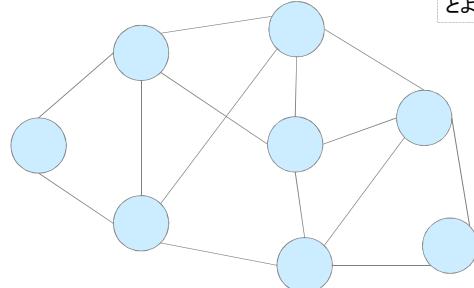
- 全域木 spanning tree
 - 最小全域木 minimum spanning tree
 - フロー flow, カット cut
 - 最大流 maximum flow
 - 最小カット minimum cut
 - 最小費用流 minimum cost flow
 - マッチ match, 被覆 cover
 - 最大マッチング maximum matching
 - 最小被覆 minimum covering
- ✓ 補助ネットワーク auxiliary network, 残余ネットワーク residual network
 ✓ 増加道 augmenting path
 ✓ 最大フロー-最小カット定理
 ✓ 劣モジュラ関数 submodular function
 ✓ 最大マッチング・最小被覆定理
 ✓ ダルメジ-メンデルソン分解 DM decomposition
 ✓ マトロイド matroid
- ✓ 幅優先探索 BFS, Breadth-First Search
 ✓ 深さ有線探索 DFS, Depth-First Search
 ✓ 連結性: k 点連結, k 枝連結
 ✓ 強連結 strongly connected, 半順序 partial order
 ✓ 安定集合 stable set, 独立集合 independent set

詳細は、専門科目
「ネットワークモデル分析」で学ぼう



2種類の閉路

- オイラー閉路 Eulerian cycle
– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

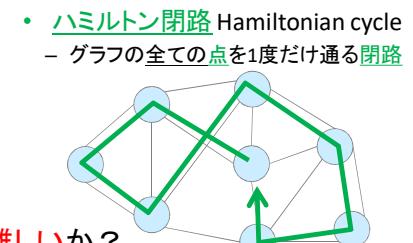
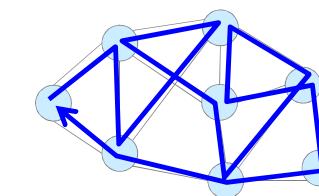


注1)どの枝(点)から始めても構わない

注2)スタート枝(点)とゴール枝(点)が異なる場合は、それぞれ。
• オイラー路(path)
• ハミルトン路(path)とよぶ

2種類の閉路 (解答例)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

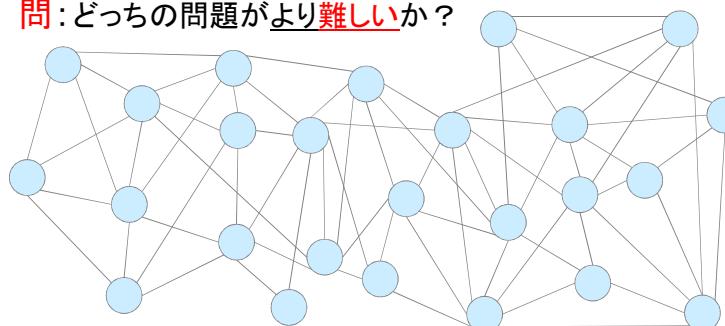


- 問:どっちの問題がより難しいか?

※与えられたグラフの
オイラー閉路を求める問題は、クラスPに属す(多项式時間で解ける polynomial-time solvable)
ハミルトン閉路を求める問題は、NP完全問題 NP complete problem
※NP完全問題とは、クラスNPに属し、かつ、NPの全ての問題から多项式時間帰着可能な問題
polynomial-time reducible
※「P≠NP予想」未解決(7つのミレニアム懸賞問題 millennium prize problems の1つ)

2種類の閉路

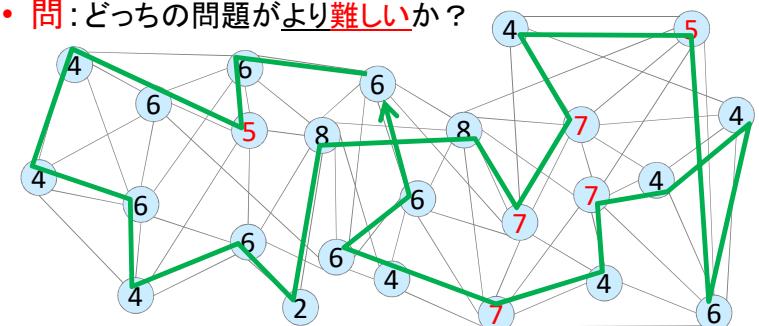
- オイラー閉路 Eulerian cycle
– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路
- 問:どっちの問題がより難しいか?



2種類の閉路 (解答例)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

- 問:どっちの問題がより難しいか?



オイラー閉路は存在しない(奇数次数の点が6つあるから)

2種類の閉路 (解説)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
 - グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路

奇数次数の点があれば(あるときは必ず偶数個)
オイラー閉路は存在しない

次数が全て偶数なら
オイラー閉路は必ず存在し簡単に見つかる

※先ほどの例題の奇数次数点に枝を2追加・1削除し、全て偶数にした、オイラー閉路を見つけよう

2種類の閉路 (解説)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
 - グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
 - グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

• オイラー閉路の構成 ①適当に閉路を見つける
②見つけた閉路をグラフから取り除く

2種類の閉路 (解説)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
 - グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
 - グラフの全ての点を1度だけ通る閉路
- オイラー閉路の構成
 - ③①②の繰り返し

2種類の閉路 (解説)

- オイラー閉路 Eulerian cycle
 - グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路
- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle
 - グラフの全ての点を1度だけ通る閉路
- オイラー閉路の構成
 - ③①②の繰り返し

2種類の閉路 (解説)

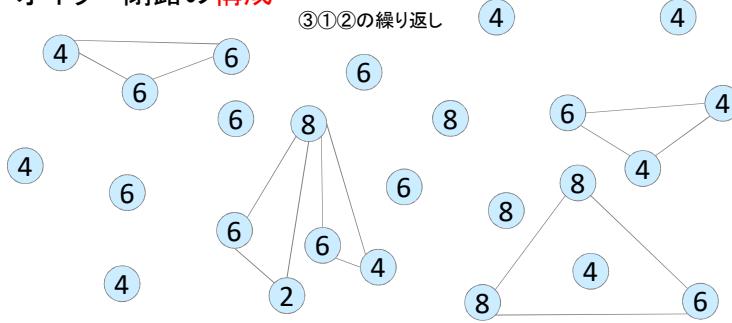
- オイラー閉路 Eulerian cycle

– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路

- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle

– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

- オイラー閉路の構成



2種類の閉路 (解説)

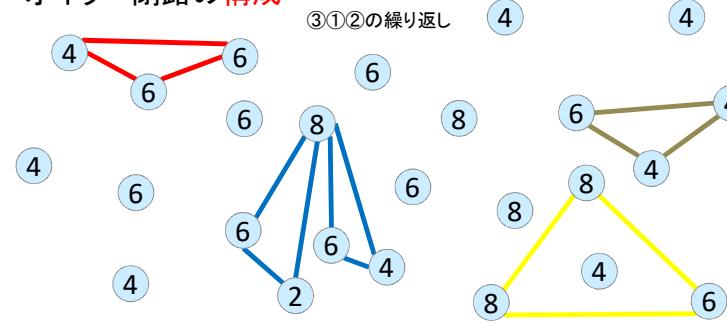
- オイラー閉路 Eulerian cycle

– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路

- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle

– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

- オイラー閉路の構成



2種類の閉路 (解説)

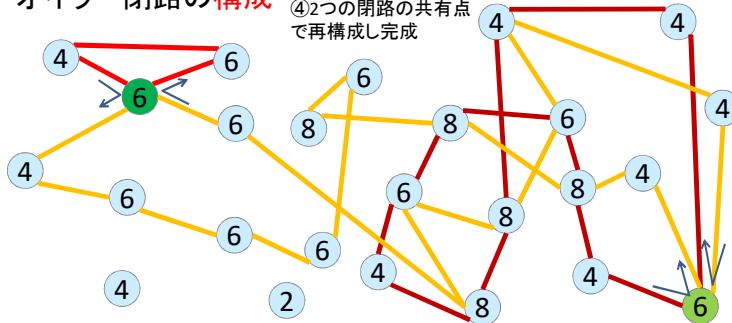
- オイラー閉路 Eulerian cycle

– グラフの全ての枝を1度だけ通る閉路

- ハミルトン閉路 Hamiltonian cycle

– グラフの全ての点を1度だけ通る閉路

- オイラー閉路の構成



四色定理

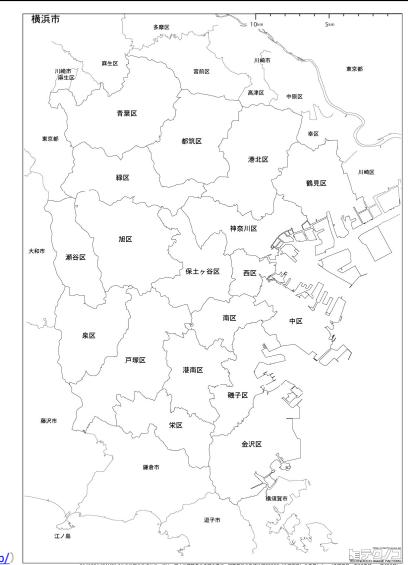
【四色定理】

平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

- 与えられたグラフは平面
- 隣接する地域を別の色で塗る
- 隣接とは辺で接していることであり、点で接する場合は除く

【練習】
横浜市(18区)を4色で塗り分けよう

区の境界線を辺とし、
辺が交わる箇所を点とする
グラフ $G=(V,E)$ を考え、4彩色せよ



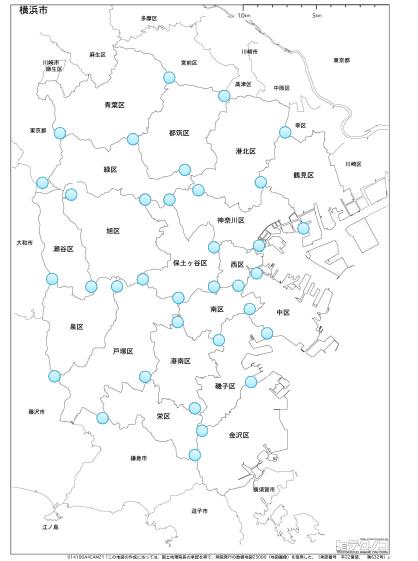
四色定理

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

- 与えられたグラフは平面
- 隣接する地域を別の色で塗る
- 隣接とは辺で接していることであり、点で接する場合は除く

[練習]
横浜市(18区)を4色で塗り分けよう

区の境界線を辺とし、
辺が交わる箇所を点とする
グラフ $G=(V,E)$ を考え、4彩色せよ



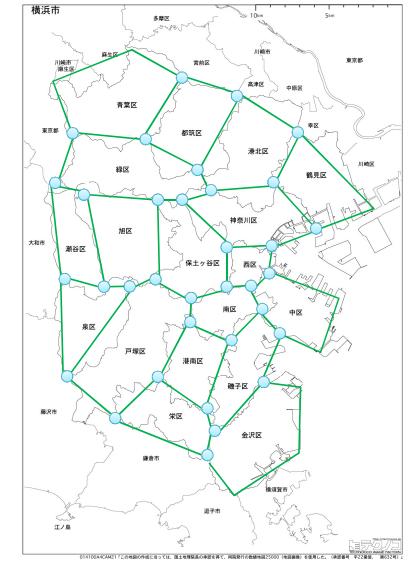
四色定理

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

- 与えられたグラフは平面
- 隣接する地域を別の色で塗る
- 隣接とは辺で接していることであり、点で接する場合は除く

[練習]
横浜市(18区)を4色で塗り分けよう

区の境界線を辺とし、
辺が交わる箇所を点とする
グラフ $G=(V,E)$ を考え、4彩色せよ



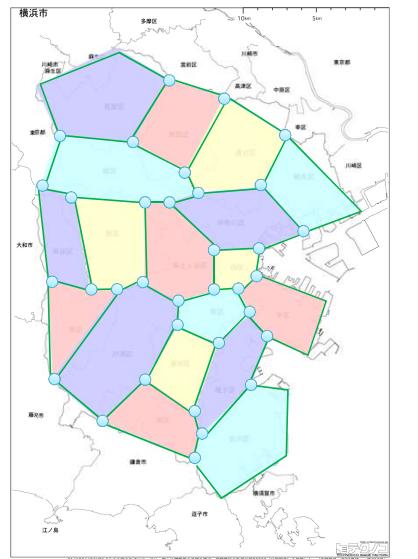
四色定理

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

- 与えられたグラフは平面
- 隣接する地域を別の色で塗る
- 隣接とは辺で接していることであり、点で接する場合は除く

[練習]
横浜市(18区)を4色で塗り分けよう

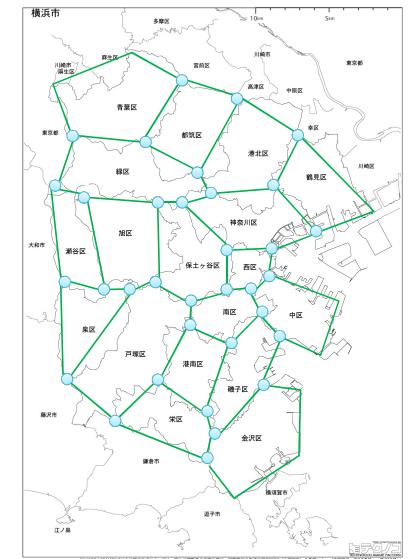
区の境界線を辺とし、
辺が交わる箇所を点とする
グラフ $G=(V,E)$ を考え、4彩色せよ



ハミルトン閉路

【ハミルトン閉路】
全ての点を通る閉路

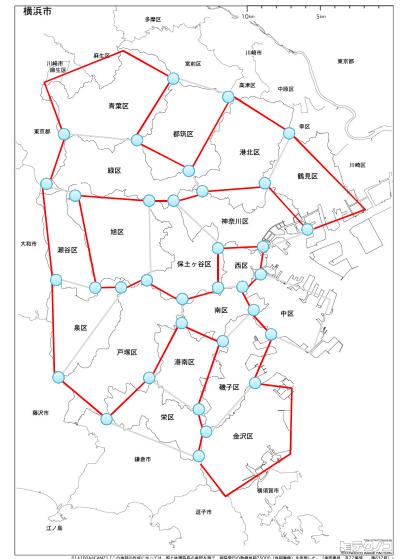
[練習]
横浜市(18区)のグラフについて、
ハミルトン閉路が存在するなら、
それを求めよ



ハミルトン閉路

【ハミルトン閉路】
全ての点を通る閉路

【練習】
横浜市(18区)のグラフについて、
ハミルトン閉路が存在するなら、
それを求めよ

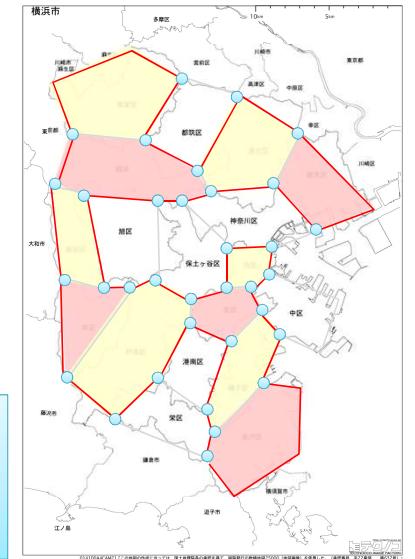


四色定理 と ハミルトン閉路

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

【ハミルトン閉路】
全ての点を通る閉路

平面グラフでハミルトン閉路
が存在すれば、閉路の内側
と外側が出来る。内側を2色
交互に、外側を2色交互に
塗れば4彩色ができる

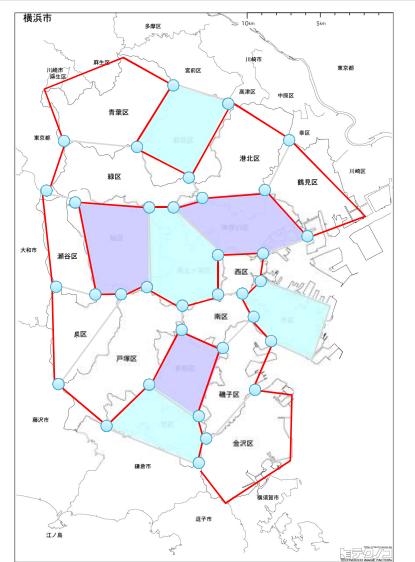


四色定理 と ハミルトン閉路

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

【ハミルトン閉路】
全ての点を通る閉路

平面グラフでハミルトン閉路
が存在すれば、閉路の内側
と外側が出来る。内側を2色
交互に、外側を2色交互に
塗れば4彩色ができる

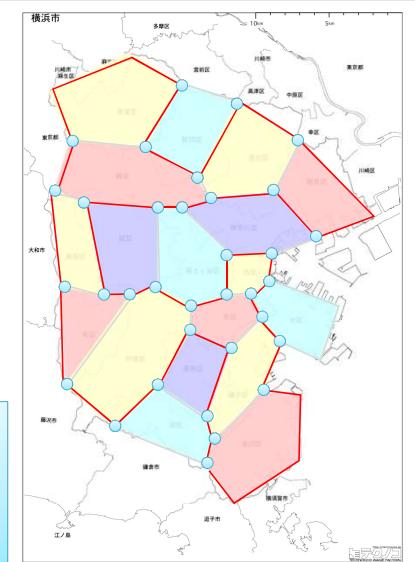


四色定理 と ハミルトン閉路

【四色定理】
平面グラフは4彩色可能
(高々4色で塗り分けられる)

【ハミルトン閉路】
全ての点を通る閉路

平面グラフでハミルトン閉路
が存在すれば、閉路の内側
と外側が出来る。内側を2色
交互に、外側を2色交互に
塗れば4彩色ができる



参考文献

- D.Jungnickel, "Graph, Networks and Algorithms", Springer (2002)
- J.Gross & J.Yellen, "Graph Theory and Its Applications", CRC Press (1999)
- 伊里正夫・藤重悟・大山達雄「グラフ・ネットワーク・マトリオド」産業図書 (1986)
- 藤重悟「グラフ・ネットワーク・組合せ論」共立出版 (2002)
- 茨木俊秀・永持仁・石井利昌「グラフ理論」朝倉書店 (2010)
- 地図出展:テクノコ白地図イラスト(<http://technocco.jp/>) 2015.5.4

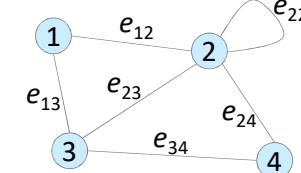
もっと知りたい人は
関連する授業をとろう！



- ✓ 「ネットワークモデル分析」
- ✓ 「最適化モデル分析」
- ✓ etc.

補足:コンピュータ上等で処理するため Graph

- グラフ $G=(V,E)$ の行列表現



注)どんなグラフも表現出来るわけではない
✓ 多重辺
✓ 自己ループ
✓ etc.

有向グラフの場合はどうなるか考えてみよう
➤ 枝が出る → -1
➤ 枝が入る → +1

$$\begin{matrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ \begin{pmatrix} 0 & 1 & 1 & 0 \\ 1 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 1 & 1 & 0 \end{pmatrix} \end{matrix}$$

$$\begin{matrix} e_{12} & e_{13} & e_{22} & e_{23} & e_{24} & e_{34} \\ \begin{pmatrix} 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 1 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \end{pmatrix} \end{matrix}$$

隣接行列
adjacency matrix

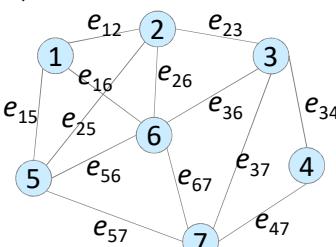
接続行列
incidence matrix

補足

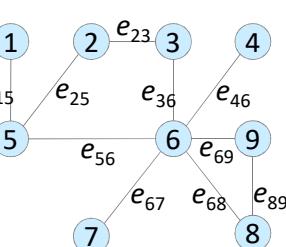
練習1

- 問:次のグラフ $G=(V,E)$ の点集合 V と枝集合 E を示せ.
また、グラフを接続行列と隣接行列で表せ.
さらに、各点の次数を求めよ

(1)

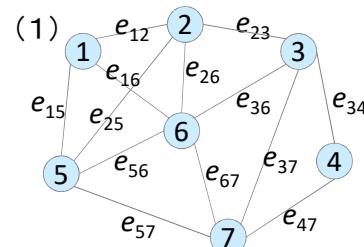


(2)



補足

練習1(解答)



隣接行列

$$\begin{matrix} 1 & 2 & 3 & 4 & 5 & 6 & 7 \\ \begin{pmatrix} 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 1 & 0 & 1 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 \end{pmatrix} \end{matrix}$$

接続行列

点集合 $V = \{1, 2, 3, 4, 5, 6, 7\}$

枝集合 $E = \{e_{12}, e_{15}, e_{16}, e_{23}, e_{25}, e_{26}, e_{34}, e_{36}, e_{37}, e_{47}, e_{56}, e_{57}, e_{67}\}$

各点の次数 degree

点1(3), 点2(4), 点3(4), 点4(2),
点5(4), 点6(5), 点7(4)

$$\begin{matrix} e_{12} & e_{15} & e_{16} & e_{23} & e_{25} & e_{26} & e_{34} & e_{36} & e_{37} & e_{47} & e_{56} & e_{57} & e_{67} \\ \begin{pmatrix} 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 1 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 0 \\ 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 0 & 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix} \end{matrix}$$

補足

練習2

- 問：隣接行列・接続行列で表されたグラフ $G=(V,E)$ をそれぞれ図示せよ

(1) 隣接行列

$$\begin{matrix} & \begin{matrix} 1 & 2 & 3 & 4 \end{matrix} \\ \begin{matrix} 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{matrix} & \left[\begin{array}{cccc} 0 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 0 \end{array} \right] \end{matrix}$$

(2) 接続行列

$$\begin{matrix} & \begin{matrix} e_{12} & e_{13} & e_{14} & e_{23} & e_{24} & e_{34} \end{matrix} \\ \begin{matrix} 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{matrix} & \left[\begin{array}{cccccc} 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \end{array} \right] \end{matrix}$$

補足

練習2(解答)

- 問：隣接行列・接続行列で表されたグラフ $G=(V,E)$ をそれぞれ図示せよ

(1) 隣接行列

$$\begin{matrix} & \begin{matrix} 1 & 2 & 3 & 4 \end{matrix} \\ \begin{matrix} 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{matrix} & \left[\begin{array}{cccc} 0 & 1 & 1 & 1 \\ 1 & 0 & 1 & 1 \\ 1 & 1 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 1 & 0 \end{array} \right] \end{matrix}$$

(2) 接続行列

$$\begin{matrix} & \begin{matrix} e_{12} & e_{13} & e_{14} & e_{23} & e_{24} & e_{34} \end{matrix} \\ \begin{matrix} 1 \\ 2 \\ 3 \\ 4 \end{matrix} & \left[\begin{array}{cccccc} 1 & 1 & 1 & 0 & 0 & 0 \\ 1 & 0 & 0 & 1 & 1 & 0 \\ 0 & 1 & 0 & 1 & 0 & 1 \\ 0 & 0 & 1 & 0 & 1 & 1 \end{array} \right] \end{matrix}$$

